

スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」に5年連続で認定されました

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2022」に認定されました。

当社は、制度発足から5年連続認定を受けた企業として「ブロンズ」の称号が付与されました。今年度は、健康アプリ「ココカラダイアリー」を活用した運動推進や食生活の改善推進、および社内コミュニケーションや運動不足の解消を目的とした「アスリートとのオンライン交流会」を実施したことが評価されました。

当社は、今後も社員が運動する機会の増加を目指し、環境整備に取り組んでいきます。

1. スポーツエールカンパニーについて

社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している企業685社が、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」として認定されました。今年度は本制度に連続して5年以上認定を受けた企業として74社が「ブロンズ」認定されました。

※スポーツエールカンパニー2022：スポーツ庁 Webサイト
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00095.html



2. 当社の主な取組

(1) 健康アプリ「ココカラダイアリー」の活用

本アプリの歩数計機能の活用により、社員が楽しみながら健康への関心を高め、健康増進や生活改善につなげています。本アプリはどなたでも利用が可能で、昨年10月には食事の写真を撮影すると、AIが分析し、メニューとカロリーを表示、簡単に毎日の食生活を記録する機能を追加しました。

(2) 「アスリートによるオンライン交流会」の実施

コロナ禍におけるコミュニケーション不足、運動不足の解消を目的に、アスリートと楽しみながら運動できるオンライン交流会を実施しました。筋トレやヨガの要素を取り入れて、健康増進とコミュニケーション向上に寄与しています。

<「ココカラダイアリー」の特徴>

- ① 歩数と健康データの記録
- ② 食生活の改善
- ③ ストレス状態の測定

<「オンライン交流会」の特徴>

- ① 場所を問わずオンラインで参加可能
- ② 選手、社員の双方向コミュニケーション
- ③ 楽しみながら運動不足の解消



<「ココカラダイアリー」の記録画面>



<「オンライン交流会」の様子>